

Title	新年のごあいさつ 第181号
Author(s)	久多里, 文也; 藤井, 睦子; 川人, 優 他
Citation	makoto. 2018, 181, p. 2-7
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85527
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

新年のごあいさつ



一般財団法人 大阪防疫協会

理事長 久多里 文也

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は何かとお力添えを頂き有難うございました。

本年も変わらずご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年の世界平均気温は、観測史上最高となった一昨年に次いで高くなり産業革命前と比べて1.1度高かったと世界気象機関(WMO)が発表しました。また、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)第5次評価報告書によりますと、気候システムの温暖化には疑う余地がなく、また1950年代以降、観測された変化の多くは数十年から数千年間にわたり前例のないものである。大気と海洋は温暖化し、雪氷の量は減少し、海面水位は上昇しているとされています。その気候温暖化の影響もあるのでしょうか、記録的大雨となりました九州北部地方をはじめ全国各地で集中豪雨や長雨などが発生し、甚大な被害をもたらしましたが世界でも様々な異常気象による

災害が頻発しています。このような地球温暖化の最大の原因でもある二酸化炭素の世界平均濃度が403.3ppm(産業革命前で約278ppm)で過去最高を更新しておりWMOは、これまでに以上に抜本的な排出削減が必要と指摘しています。ドイツのボンで開催されましたCOP23は、パリ協定実施に向け世界各国の温室効果ガス排出削減目標の上積みを目指しています。

脱石炭、脱炭素に向けカーボンバジェットを大切にしたいものです。

ところで、弊会は昨年、設立70周年を迎えましたが公益事業の一つであります本誌「*Makoto*」は1973年(昭和48年)の創刊号から今回で181号となりますが、今後ともタイムリーな話題、身近な話題など皆様方のお役に立ちますように、さらに充実させましてお届けしたいと思っておりますので、今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

今年が、皆様方にとりまして素晴らしい年でありますことをお祈りいたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



大阪府健康医療部長

藤井 睦子

あけましておめでとうございます。

皆様、健やかに輝かしい新年をお迎えになられたことと、心からお慶びを申し上げます。

一般財団法人大阪防疫協会におかれましては、日ごろから、防疫に関する様々な事業を通じて本府の保健衛生の向上にご協力いただき、厚くお礼を申し上げます。

去年は、南米大陸原産のヒアリが日本各地で発見され、大きな話題となりました。

ヒアリは繁殖力が強く、一旦定着すれば根絶することが困難であることから、早期発見・早期駆除が大切だとされています。また、ダニ媒介感染症である重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発症が府内で初めて確認され

るなど、海外の感染症を含めた、多様な感染症の予防・まん延防止に関する正しい知識と適切な対応が今後、益々求められます。

本府といたしましても、「住む人が安心できる大阪」をめざし、感染症の発生予防・まん延防止に向けた総合的な施策を推進しているところです。

なかでも予防接種は感染源対策・感染経路対策として重要な手段であり、貴協会及び会員の皆様方には、今後とも引き続き、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展と皆様方のご健勝をお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



❁ 新年のごあいさつ ❁



大阪市健康局
生活衛生担当部長

川 人 優

あけましておめでとうございます。
一般社団法人大阪防疫協会の皆様方には、すがすがしい新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

貴協会の皆様方におかれましては、市政の各般にわたり格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、貴協会におかれましては、日頃より防疫に関する相談事業など社会貢献に取り組まれ、御努力されていることに対し、深く敬意を表する次第であります。

昨年は、特定外来生物であるヒアリが日本各地で初めて確認されました。ヒアリから生ずる被害は、日常生活、農業、商工業や自然環境まで多岐に及び、経済損失も計り知れないため、報道でも大きく取りあげられました。幸いにも、現時点で日本での定着は確認されていませんが、定着後の駆除は困難を極めることから、今後とも手厚い水際対策の継続が重要視されています。

また、全国的に大規模な被害を及ぼした台風21号は、近畿圏でも土砂崩れや大和川流域の浸水等の被害を引き起こしました。

貴協会の永年にわたり培ってこられた防疫対策・衛生害虫獣の防除に関する豊富な知識や経験は、これら特定外来生物対策や災害等の危機管理事象に対応しうる心強いスキルであり、今後ますます重要となる危機管理の分野において、専門的な見地から地域を支え、緊急時における住民の安全・安心の確保に御尽力いただくとともに、公衆衛生の向上に寄与頂くことと期待申し上げます。

さて、大阪市では、2025年日本万国博覧会の大坂誘致を目指しています。昨年は、万博の誘致ロゴマークを定め、国内外でPR活動を行いました。本年11月の開催国決定に向け、今後も積極的に取り組んでまいります。万博誘致の実現に向けては、国内で機運を高めていくことも重要であり、特に開催地となる大阪市では、より一層の盛り上がりが求められますので、皆様の御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、一般社団法人大阪防疫協会の今後ますますの御発展と会員の皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

❁ 新年のごあいさつ ❁



堺市健康福祉局
健康部長

池之内 寛 一

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方におかれましては、健やかに新春を迎えられ、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解とご協力を承り、厚くお礼申し上げます。

近年、毎年のように大規模な災害が発生しており、昨年7月には、九州北部での豪雨により、福岡県朝倉市や大分県日田市等で甚大な被害が発生しております。災害時の危機管理や感染症の蔓延予防などの体制づくりの重要性をより一層、強く感じたところです。

加えて、昨年6月、兵庫県尼崎市のコンテナから発見されたアリが特定外来生物のヒアリであることが確認され、その後、発見場所が拡大しています。今後、発見や防除に関する技術開発が期待されているところです。

さて、本市では昨年、念願である仁徳天皇陵をはじめとする「百舌鳥・古市古墳群」の世界遺産登録に向けて国内推薦を得ることができました。今後、世界遺産登録を目指して市民をはじめ、市全体で取り組んでまいりたいと考えております。

保健衛生の分野では、市民の命と健康を守るため、特にがん対策に力を入れており、がん検診の受診率向上を図るため、昨年6月に「がん検診総合相談センター」を開設しました。従来の検診に関する相談に加え、がん患者やそのご家族の不安を和らげるための相談にも応じるなど総合的な相談支援を行っております。

また、骨髄移植関係でも「骨髄移植普及促進事業」の拡充にも取り組んでおります。昨年11月にNPO法人と骨髄移植等の推進にかかる協定を締結し、骨髄移植等の市民への啓発やドナー登録者数を増加させるための取組み及びドナーがより骨髄等を提供しやすい環境整備を協働で進めております。

貴協会におかれましては、昨年70周年を迎えられ、防疫対策などに関する豊富な知識、経験、高度な技術を培われていることと存じます。これらを活用していただき緊急時における住民の安全・安心の確保にご尽力いただくなど、今後とも本市の保健衛生行政の推進により一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と皆様方のご活躍とご健勝、そして、本年が皆様にとりまして健康で幸多い一年となりますことを心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



東大阪市健康部長

大堀 和俊

新年あけましておめでとうございます。
一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今、日本は地震、台風、豪雨など多くの自然災害に見舞われており、災害対策や健康被害の拡大防止に向けて、万全の準備を行なうことが重要になっております。

昨年7月に発生した九州北部豪雨は、甚大な人的被害をもたらしました。本市におきましても昨年7月9日の記録的短期集中豪雨によって、一部の地域で土砂崩れや建物の浸水、道路の冠水等の被害が発生しました。衛生対策として、市民自らが家屋内の消毒を行うことができるよう、消毒噴霧器の貸出し等を行いました。災害時の感染症発生防止のため、消毒に関する講習会についても実施し、今後も継続していきたいと考えております。

さて、本市では2019年の東大阪市花園ラグビー場でのラグビーワールドカップの開催に向けて準備を進めているところです。2020年には東京オリンピック・パラリンピック、2021年には関西でのワールドマスターズゲームの開催も控えており、国内外で人々の移動が益々流動的になることで、感染症発生リスクの増加が懸念されます。本市としては、引き続き感染症媒介蚊の生息調査やウイルスの保有状況調査を行い、蚊の防除体制の整備・強化を図るとともに、市民が健康で安心安全に暮らせるよう、健康危機管理や感染症対策などの保健衛生行政をより一層進めてまいり所存です。

貴協会におかれましては、長年にわたって培ってこられた防疫・公衆衛生の知識や技術を遺憾なく発揮され、本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご多幸を心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



高槻市健康福祉部長

西田 誠

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴協会におかれましては、長年にわたり感染症の予防及び公衆衛生の向上のための社会貢献に取り組まれていることに対し、深く敬意を表する次第です。

高槻市保健所も、開設15年目を迎え、様々な課題に積極的に取り組んでまいりましたが、薬剤耐性菌による感染症の増加に係る対応、特定外来生物に指定されているヒアリに対する関係機関等との連携体制の確保等、社会情勢の変化に伴って次々に新たな課題への対応も求められています。

今後、より一層の健康危機管理体制の充実・強化を図るとともに、市民の健康を増進し、安全で安心して暮らせる環境を確保するため、なお一層の努力を重ねてまいります。

さて、昨年も全国各地で台風による水害、土砂災害等の災害が発生いたしました。一日も早い復旧をお祈りするとともに、被災された多くの方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。本市におきましても、今後発生が想定される南海トラフ巨大地震などの大災害時に備えて、本市の地域防災計画に基づき、実効力のある医療救護活動を円滑に実施していく体制整備に努めております。

大災害時には、医療救護に加えて、環境衛生の確保や感染症の予防が大きな課題となりますが、平時においても、防疫活動や衛生管理体制の整備が求められます。貴協会におかれましては、永年培ってこられた豊富な知識と高度な技術を遺憾なく発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



豊中市健康福祉部長

直川 俊彦

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様には、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、特定外来生物ヒアリの国内侵入が各地で確認されて大きな注目を浴び、人が刺される事例も発生しました。幸いにも刺された方の健康に問題はありませんでしたが、世界各地ではヒアリの侵入、定着、刺咬被害と大きな社会問題となっており、引き続き、国内定着を防ぐための生息調査や駆除など、水際対策の徹底が求められています。また、マダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の感染者が全国で増加傾向にあり、稀な事例ではありますが、猫からの咬傷により発症し死亡した事例も確認されました。このように外来生物や動物由来感染症などの脅威が高まり、その対策の重要性を再認識させられた一年となりました。

そのようななか、本市では、「安全で安心して暮らしができるまち」を基本政策の1つに掲げて健康危機管理体制の強化に努めるとともに、昨年度末に「豊中市地域包括ケアシステム推進基本方針」を策定し、将来にわたり、誰もが住み慣れた自宅や地域で自分らしく、健康でいきいきとした暮らしができるまちをめざして、市民の皆様一人ひとりの生活の充実向上にむけ、日々全力で取り組んでおります。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫や環境衛生対策に関する豊富な知識と経験、高度な技術をいかに発揮され、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般財団法人大阪防疫協会の今後益々のご発展と、あわせまして、会員の皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたします。

新年のごあいさつ



枚方市健康部長

白井 重喜

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、昨年、市制施行70周年を迎え、「枚方の魅力をとともに高める」をテーマに掲げ、健康医療都市ひらかたコンソーシアムによる幅広い事業を展開するなど、多くの人に本市の魅力を広く発信してまいりました。

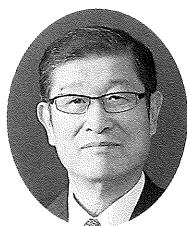
さて、昨年5月には、兵庫県尼崎市で発見されたアリアが、世界各地で侵入・定着し、大きな問題となっている特定外来生物の「ヒアリ」と確認され、人体への被害を及ぼす外来生物に対して危惧が広がる一年となりました。このことにより、海外からの貨物等においては、外来生物の侵入監視による、早期発見、早期駆除により定着前に根絶を図ることの重要性が再認識させられました。

近年、国際交流が頻繁となり、海外においてデング熱をはじめ蚊が媒介する感染症に感染する機会が増えており、これらが国内に入り込み感染が広がることも懸念されます。本市では、昨年からウエストナイル熱に対する監視のため媒介蚊サーベイランスとして、蚊を捕集する場所を2か所から4か所に増加し実施して、さらに媒介蚊に対する監視の強化に努めております。これからも市民の安全・安心を確保するため、様々な保健衛生施策の充実に取り組んでまいりたいと考えております。

貴協会におかれましては、長年培ってこられた豊富な知識と高度な技術を発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

🌸 新年のごあいさつ



一般財団法人
阪大微生物病研究会

理事長 山西 弘一

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は当財団のワクチン事業に対し格別のご理解とご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

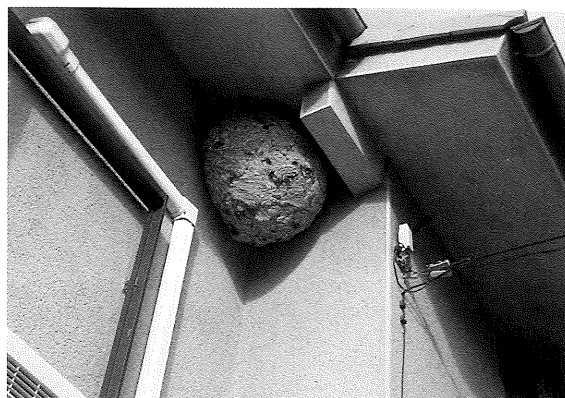
昨年10月、大型の台風21、22号が2週続けて日本列島に猛威を振るい、暴風や豪雨による河川の氾濫等により関西地方にも大きな被害をもたらしました。被害に遭われた方には、いち早くの復旧、普段通りの生活ができますことを心より願っております。

さて、昨今、交通手段の発展に伴い人々の交流がより盛んになった現代社会において、わが国は感染症のリスクに常にさらされています。日本は麻疹の排除国とされていますが、去年は海外で感染した人を起点とした局地的な集団発生がみられました。

当財団は、1934年の創設以降、数多くのワクチンを開発、生産供給を行うとともに、優れた臨床検査サービスを提供し公衆衛生に貢献してまいりました。現在、麻しん風しん混合ワクチン（MR）、水痘ワクチン、インフルエンザHAワクチン、日本脳炎ワクチン等の安定供給に努めております。また、近年増加している成人の百日咳に対応するため、今年度は3種混合ワクチン（DPTワクチン）の供給を再開する予定です。

ワクチン接種は感染症に対する最も効果的な対策の一つとされていますが、医学が発展した現在も、人類は未だ新たな感染症の脅威にさらされています。当財団は、高まり続けるワクチンの供給ニーズにさらに力強く応えていくため、「株式会社BIKEN」を設立し、昨年9月に田辺三菱製薬株式会社との合弁会社として操業開始いたしました。両者のノウハウを融合し生産基盤の強化を加速させることで、ワクチンのさらなる安定供給に貢献してまいります。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



軒先にキイロスズメバチの巣



ミツバチの分蜂



軒先にミツバチの巣



土中に造られたオオスズメバチの巣